

農林水産省 みどり戦略に基づく農産物の温室効果ガス削減 「見える化」実証事業をイトーヨーカドー6 店舗で開始 セブンファーム東京（立川）平野さんの「ほうれん草」

株式会社イトーヨーカ堂（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：山本 哲也、以下「イトーヨーカドー」）は、温室効果ガス削減の算定を通じ、農業の環境負荷低減を定量的に見える化した、イトーヨーカドーの直営農場であるセブンファーム東京（立川）平野さんの「ほうれん草」をイトーヨーカドー6 店舗にて実証販売いたします。

農林水産省では、「みどりの食料システム戦略」に基づき、消費者の選択に資する環境負荷低減の「見える化」として化学肥料・化学農薬や化石燃料の使用削減、バイオ炭や堆肥の施用、水管理（水田）などの、生産者の栽培情報を用いて、定量的に温室効果ガスの排出と吸収を算定し、削減率に応じて星の数でわかりやすく表示をする取り組みを推進しております。

このたびセブンファーム東京（立川）平野さんの「ほうれん草」は、化学肥料の使用量を減らし、作物残さのすき込みや緑肥施用による土壌炭素貯留効果もあり、農地面積 10a あたりの温室効果ガス削減率：-25.92%（削減量-210.74kg-CO₂e/10a）を達成し、令和 5 年度温室効果ガス削減見える化実証事業において星 3 つを獲得することができました。今後も対象商品、扱い店舗を拡大して いく予定です。

イトーヨーカドーはこれからも様々な取り組みを実施しながら、お客様、地域社会と一体となり、店舗を地域の拠点として、環境負荷低減の取り組みを強化いたします。また国や地方自治体と連携しながら、実証事業のフィールドとして店舗を積極的に活用してまいります。

■農産物の温室効果ガス削減「見える化」実証事業概要

- ・対象商品：セブンファーム東京（立川）平野さんの「ほうれん草」
- ・販売期間：24 年 1 月 10 日（水）～24 年 2 月 29 日（木）※東大和店は 12 日（金）～
- ・販売店舗：拝島店・国領店・武蔵小金井店・東久留米店・昭島店・東大和店
- ・実施内容：①平野さんの「ほうれん草」の栽培記録を該当フォームへ記入
②農林水産省により GHG 削減値を算出、3 つの星で表現
③見える化ラベルを貼り、店頭にて実証販売
④売上の検証、お客様の反応を検証し、本ラベルの有用性を検証

